

# 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

## 阿久和保育園

横浜市瀬谷区阿久和西 2-28-13

運営主体：社会福祉法人 山王平成会

|                   |           |
|-------------------|-----------|
| 実施概要              | 1 ページ     |
| 総合評価（評価結果についての講評） | 2～4 ページ   |
| 評価領域ごとの特記事項       | 5～6 ページ   |
| 分類別評価結果           | 7～17 ページ  |
| 利用者家族アンケート分析・集計結果 | 18～25 ページ |
| 利用者本人調査分析         | 26～28 ページ |
| 事業者コメント           | 29 ページ    |

2010年2月18日公表

実施機関：特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

|        |                      |          |      |
|--------|----------------------|----------|------|
| 事業所名   | 阿久和保育園（保育所）          |          |      |
| 報告書作成日 | 2010年1月28日           | 評価に要した期間 | 4ヶ月間 |
| 評価機関   | 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま |          |      |

### 評価方法

|   |   |
|---|---|
| <p>1、自己評価</p> <p>実施期間<br/>2009年9月15日～11月6日</p>                      | <p>評価機関による第三者評価についての園内研修を受け、職員間で理解を深める。</p> <p>職員会議において第三者評価受審の趣旨を説明する。</p> <p>勉強会を開催し、その後常勤・非常勤すべての職員が自己評価票を記入する。</p> <p>園長・主任・リーダー職員とでまとめあげた。</p>   |
| <p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間<br/>2009年10月15日～10月31日</p>            | <p>全園児の保護者（62家族）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>   |
| <p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日<br/>第1日：2009年11月20日<br/>第2日：2009年11月24日</p>  | <p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。<br/>昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。<br/>午後：書類調査。園長・主任に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。<br/>昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。<br/>午後：各クラス担任保育士5名、栄養士1名、非常勤職員（障がい児担当保育士）1名および主任に個別に面接調査。<br/>その後、園長・主任・事務長に面接調査。<br/>最後に意見交換を行い、終了。</p> |
| <p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日<br/>第1日：2009年11月20日<br/>第2日：2009年11月24日</p> | <p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施し、戸外・園外での活動も観察した。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>  |

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【阿久和保育園】

#### 【施設の概要】

阿久和保育園は、相鉄線「三ツ境」駅からバスに乗って「向原」または「上阿久和」で下車、園の周りは住宅地で落ち着いた環境です。

当園は、公立保育園（1975年開設）から民間移管されて2年目です。運営は社会福祉法人山王平成会で、ほかに秋田市内で保育園と幼稚園を2園ずつ運営しています。園舎は平屋建てで園の南側は公園に接しています。園庭は広く、東側には畑があり季節の野菜を栽培しています。

定員は65名（1～5歳児）です。保育時間は、平日は7時から20時まで、土曜日は7時から18時30分までです。

保育理念は、「子どもの最善の利益を第一として、家庭や地域との連携を図り子どもの発達を促します」です。基本方針は「一人一人の子どもの発達の様子や気持ち（とりまく環境も含め）を受け止め、共感しながら焦らずに、成長を見守っていく」「土・水・砂・太陽の下で十分遊び、心もからだも開放され、楽しく生活できるようにしていく」「さまざまな経験を積んでいくなかで、自信を持ち、自ら行動しようとする気持ちを育てていく」としています。また、園目標は「自然の中で たくましく 育ち合う子ども」です。

#### 高く評価できる点

##### 1、子どもたちは仲良くのびのびと園生活を楽しんでいます

広い園庭の周りには木々が植えられ、その下にはすべり台や砂場、鉄棒、ジャングルジム、タイヤなどがあり、子どもたちは思い思いに好きな遊具で遊んでいます。園庭の隅にはいくつものテーブルやイスが置かれていて、5、6名の子どもたちが一緒になってままごと遊びを楽しんでいます。三輪車、かけっこ、鬼ごっこ、ボール蹴り等で遊ぶ子どもや輪ころがしをする子どもたちなど、どの子どもも好きな遊びを楽しんでいます。

月曜日の朝、3・4・5歳児は、集会で園長先生の話聞いた後、隣の公園へ掃除に出かけます。手袋をして一生懸命落ち葉を拾い集め、袋に詰めます。年下の子どもが手袋をはめられなくて困っていると、年上の子どもが自然に手伝っています。

発表会の練習では、保育士は子どもの意見や希望を取り入れていますし、どのようなときでも優しい声で話しかけていますので、どの子どもも緊張することなく自然体で練習を行っています。

4・5歳児は「オープン保育」を取り入れて生活を一緒にしています。給食時になると、保育室のテーブルはランチョンマットを敷いた「ランチルーム」となり、4・5歳児は、一緒の部屋でおしゃべりしながら和やかに食事をいただいています。

乳児は人懐こく素直です。保育士にやさしく接してもらっているので落ち着いています。保育士は、乳児が必要なことを言葉で言えるようにと、言葉を繰り返して伝えています。また、いけないことはいけないと伝えることも忘れていません。

子どもたちは保育士に見守られながら、温かい雰囲気の中でのびのびと楽しく一日を過ごしています。

##### 2、職員は連携よく保育に携わっています

民間移管後、公立園の非常勤職員から正職員になって残った職員、新規採用の職員と、さまざまな経歴

の職員が一緒になり、公立園の保育内容を継続しつつ法人としての保育理念・基本方針に沿った自分たちの保育を実践していくために、一丸となって話し合いを重ね取り組んできました。職員会議、カリキュラム会議、クラスミーティング等においても個々のケースについて話し合っていますので、職員は一人ひとりの子どものことをしっかり把握して子どもとかかわることができています。また毎朝、クラスの職員間では口頭で一人ひとりの子どもの情報を把握したり、ミーティングノート等で情報交換をしたりしていますので、連携のとれた保育が可能になっています。

例えば、障がいのある子どもがほかのクラスに突然入って来ても、そのクラスの保育士はいつでも受け入れています。職員同士は連携を取りながらその子を見守り、子どもが納得するまで居させていますので、その子どもも安心して居ます。また、ほかの子どもたちは、突然クラスに障がいのある子どもが入って来ても、仲間として受け入れています。

### 3、職員は積極的に研修を受け、保育技術の向上に努めています

園内研修としては、外部から講師を招いて防犯研修、虐待に関する研修、乳幼児心肺蘇生法などの研修を開催しています。一方外部研修としては、障がい児保育や発達障がい・統合保育に関する講座、食育研修会、主任保育士講座、会計講座などの研修を受講しています。受講後は、参加者全員が研修報告書を提出し、研修ファイルにとじて職員間で回覧するほか、職員会議の席上で報告をして周知しています。職員は園長から勧められた研修を受講することもあります。自分の目標にあった研修を自主的に受講することとしています。主任はシフトを調整して、職員ができるだけ研修に参加できるように取り計らっています。

### 4、地域の子育て支援に取り組んでいます

園は公立保育園時代のやり方を引き継ぎながら、一時保育・施設開放・交流保育・育児相談・育児講座などにも積極的に取り組んでいます。

育児講座では、ベビー体操や小児救命救急講座等を行っています。園庭開放は、月曜日から金曜日まで毎日行って、毎日数組の親子連れが園庭で遊んでいます。保護者からは、子どもたちを安心して遊ばせることができるとの声があります。また夏季には、プール開放も行っています。

毎週火曜日は「おたのしみの日」という子育て支援の取り組みを行っています。20組前後の地域の親子が参加し、手遊びやゲームなどを親子一緒に楽しんでいます。子育て支援担当の保育士は、公立保育園のときからの担当で、保護者も安心して参加しており、参加者は顔なじみになり互いに交流することもあります。「おたのしみの日」は手遊びやゲームが終わってもすぐには帰らないで、園庭でそのまま遊んでいく親子もいます。また毎月、地域向けのおたより「あくわっこ」を作成して、「おたのしみの日」に来た人へ渡しています。「あくわっこ」には、子育て支援事業の予定、園行事、健康に関する情報などを記載しています。さらに「おたのしみの日」には、育児相談も受け付けていて来所者は気軽に相談しています。

#### 独自に取り組んでいる点

##### 園のホームページは毎日更新しています

独自のホームページでは、保育園の概要・クラス編成・入園情報・保育理念・基本方針・保育目標・園行事・今日の子どもの様子・今日の給食・一日の過ごし方・保護者へのお願いなどを掲載し、園の情報を公開するとともに、日々様子を伝えています。

その日の子どもたちの様子や献立は写真入りで紹介しています。ホームページへの写真掲載については、全保護者が同意書へ署名捺印をしています。ホームページの更新は、子どもたちの様子は保育士が、献立については栄養士が、毎日写真をとって自分たちで更新の手続きを行っています。

## 今後さらに期待される点

### 人材育成計画の作成が望まれます

職員の研修ニーズを把握し、年間 30 件以上の外部研修と 4 回の園内研修を計画しています。そのほかにも、職員個々の短期的な目標に準じて参加する研修や、随時行う勉強会があり、保育技術の向上に努めています。しかし、人材育成計画の作成には至っておらず、組織的な職員の育成計画については不明確です。職員が段階的にスキルアップして将来像が描けるように、人材育成計画を明文化することが望まれます。

## 評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

### 1、人権の尊重

- ・ 保育理念は「子どもの最善の利益を第一として、家庭や地域と連携を図り子どもの発達を促します」であり、園目標は「自然の中でたくましく育ち合う子ども」です。保育の基本方針として「一人一人の子どもの発達の様子や気持ち(とりまく環境も含め)を受け止め、共感しながら焦らずに、成長を見守っていく」「土・水・砂・太陽の下で十分遊び、心もからだも開放され、楽しく生活できるようにしていく」「さまざまな経験を積んでいくなかで、自信を持ち、自ら行動しようとする気持ちを育てていく」をあげていて、いずれも利用者本人を尊重したものとなっています。
- ・ 児童相談所の相談指導担当者を招いて、虐待の定義や発見のポイントを全職員で学んでいます。また、虐待対応に関するマニュアルが職員に配付され、共通認識のもとで対応できるようになっています。
- ・ 個人情報保護に関するマニュアルが整備され、全職員に配付しています。また、理事は守秘義務について年1回の辞令交付式で話し、全職員から誓約書を取っています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ・ 保育士は子どもたちによく話しかけ、子どもの自由な発想を大事にし、子どもの意見を大切にして集団活動へと発展させています。
- ・ 子どもたちは、散歩や公園掃除等で地域の人たちとあいさつを交わし、話をしています。また、地域の高齢者グループホームや障がい者施設の人たちとも交流しています。
- ・ 子ども同士のけんかについて保育士は、乳児の場合は、けんかになりそうな場合には関心をほかに向けさせたり、別のおもちゃを与えるなどしています。幼児の場合は、しばらく様子を見て、子どもだけで解決できるようであれば子ども同士で解決するのを見守りますが、解決できそうにない場合はよく話し合うようにと助言をしたり、双方の言い分を聞いたりして解決できるように仲立ちしています。
- ・ 排泄に関しては、一人ひとりのリズムをとらえ個人差に配慮して取り組んでいます。また、園での排泄状況を連絡帳に記載し、保護者とも連携を取りながら進めています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ・ 理念・園目標・基本方針は、保育室・玄関ホール・事務室内に掲示して誰もが見ることができます。
- ・ 保育課程に基づき、年齢ごとに指導計画を作成し、見直しも行っていきます。
- ・ 1歳児は個別指導計画を作成しています。特別な課題のある子どもについては、カリキュラム会議等で話し合いその記録もありますが、個別指導計画の作成には至っていません。
- ・ 要望や苦情の受け付け責任者および担当者は園長で、入園のしおりに記載し、玄関にも掲示しています。
- ・ 保護者や近隣からの苦情は、所定の書類に記載しファイリングしています。

### 4、地域との交流・連携

- ・ 園の行事である夏祭り、運動会、お店屋さんごっこ、人形劇の観賞などに地域の人を誘い、喜ばれています。また、地域に向けて絵本の貸し出しを行っています。
- ・ 園の情報は、区の広報紙や市のホームページに掲載されています。
- ・ 園のホームページがあり、理念、職員体制などの記載とともに、子どもの様子や給食内容も毎日伝えています。園のパンフレットを作成していて、一時保育についても記載があります。

- ・ 中学生のボランティア体験や職業体験を受け入れて、学校教育との連携をはかっています。
- ・ 地域の一員として自治会に入り、行事の前には近隣に手紙を配布して、良好な関係を築いています。
- ・ 一時保育、交流保育、施設開放、育児相談、育児講座を行っています。施設開放としては園庭・園舎開放のほかプール開放も実施し、育児講座ではベビー体操、小児救急救命法の講習を行いました。
- ・ 施設開放の担当保育士は、参加した保護者から要望を聞いています。育児講座でのアンケート調査や、毎週行っている育児相談での聞き取りからも地域のニーズを把握し、対応を検討しています。

## 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ・ 守るべき法・規範・倫理は、「職員就業規則」に記されています。また、全職員に配付される「保育マニュアル」には、全国保育士会倫理綱領、職員心得、保育士の心がまえ、児童憲章、児童権利宣言及び、子どもの権利条約がとじてあり、辞令式や勉強会で周知されています。
- ・ 保育理念等は、職員に対して辞令交付式で説明・配付されるとともに、マニュアル勉強会で復唱し、周知しています。
- ・ 重要な意思決定にあたり、「父母の会」と継続的に意見交換をする体制があります。また、父母の会役員の中で民営化対応委員が2名選任されており、必要に応じて三者協議会（保護者・園・市）が開ける体制となっています。
- ・ 主任は、年5回実施される横浜市の主任保育士講座の受講、民間移管前の前任の園長による実習や系列園の主任を訪問し学びあうことで、スーパーバイザーとしての技量を習得しています。
- ・ 次代の組織運営に備え、中長期計画で、園舎建て替えや、0歳児保育の開始について検討しています。
- ・ 民間移管後2年目ということもあり、次代の施設運営を見据えた後継者育成には至っていません。

## 6、職員の資質向上の促進

- ・ 理想の職員像として、「子どものことが第一と考えられる人、保育に夢(目標)をもつ人、心身ともに健康な人、その場に応じていろいろな遊びができる人」を掲げています。
- ・ 人材育成の基盤として、園長は「今は、興味のある分野を勉強する気持ちを育てたい」と考えています。年4回、職員は個人目標を既定の書式に書き、園長がそれをもとに目標やその達成状況を確認し、外部研修などの自主的な研修参加を促しています。年間の研修計画は立てていますが、人材育成計画の作成には至っていません。
- ・ 年間30回以上の外部研修と、外部講師を招いた年4回の園内研修を計画しています。またそのほかに、各職員の目標に準じて参加する自主研修や、随時行う勉強会があり、充実した研修体制を確立しています。
- ・ 非常勤職員も正職員と同様に、職員会議や外部研修に参加し、資質向上の取り組みを行っています。
- ・ 「保育マニュアル」は、非常勤職員も含む全職員に配付され、マニュアルに関する勉強会も行っています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。



「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

| 評価分類   | 評価の理由(コメント)  |
|--|--|
| <p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念は「子どもの最善の利益を第一として、家庭や地域と連携を図り子どもの発達を促します」であり、園目標は「自然の中でたくましく育ち合う子ども」です。保育の基本方針として「一人一人の子どもの発達の様子や気持ち(とりまく環境も含め)を受け止め、共感しながら焦らずに、成長を見守っていく」「土・水・砂・太陽の下で十分遊び、心もからだも開放され、楽しく生活できるようにしていく」「さまざまな経験を積んでいくなかで、自信を持ち、自ら行動しようとする気持ちを育てていく」をあげていて、いずれも利用者本人を尊重したものとなっています。</li> <li>・ 理念・園目標・基本方針は、保育室・玄関ホール・事務室内に掲示して誰もが見ることができます。</li> <li>・ 保育の基本方針や、地域の実態・環境、保護者の就労状況や実状等を考慮して、保育課程を作成しています。</li> <li>・ 保育課程に基づき、年齢ごとに指導計画を作成しています。</li> <li>・ 保育士は、子どもたちの意見や要望を受け止め、子どもたちが納得して次の行動へ移れるようきちんと説明しています。また、子どもの意見や意思を指導計画の見直しに活かし、柔軟性を持たせた指導計画となっています。</li> </ul> |
| <p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園説明会の後に保護者と面接するとともに、子どもを観察しています。面接時に把握された記録は、その後の保育に活かしています。</li> <li>・ 入園説明会で園のしおりを保護者へ渡しています。</li> <li>・ 入園式で保護者から児童票を提出してもらい、入園までの子どもの生育歴や、家庭での状況などを速やかに把握しています。</li> <li>・ 短縮保育を取り入れていて、保護者へはその必要性を説明しています。また、タオルなど子どもが心理的に拠り所とするものの持ち込みを認めています。</li> <li>・ 1歳児の新入園児は、4月いっぱいはい同じ保育士が担当するようにし、その後は全職員で新入園児を見守っています。</li> <li>・ 子どもの様子について、個人連絡帳とクラスノートを使って、保護者へ丁寧に連絡しています。特に1、2歳児は毎日連絡帳に細かく記</li> </ul>   |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>載しています。幼児の場合もできるだけ連絡帳に記入し、保護者と密に情報交換をしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの発達や状況に応じて指導計画の評価・見直しを行っています。指導計画の評価・見直しにあたっては、カリキュラム会議・職員会議等で話し合っています。</li> <li>・ 玄関ホールに意見箱を設置して、保護者の意見や要望をくみ取るよう心がけています。</li> </ul>  |
| <p>- 3 快適な施設環境の確保</p>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育園の内外は清掃が行き届き、清潔に保たれています。また保育室は、陽光が十分に取り入れられています。</li> <li>・ 音楽や保育士の声が騒音にならないように、部屋が接しているクラスの担任同士で話し合っって保育の内容を決めるなど、工夫をしています。</li> <li>・ 園舎内外に温水設備があり、清掃や管理を適切に行っています。子どもたちは外遊びから戻ると、外の温水設備で足を洗って保育室へ入っています。</li> <li>・ 保育室の限られたスペースの中で、食べる・寝る・遊ぶなどの機能別空間を確保しています。</li> </ul>   |
| <p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1歳児については個別指導計画を作成しています。特別な課題のある子どもの保育については、カリキュラム会議等で話し合いその記録もありますが、個別指導計画の作成には至っていません。</li> <li>・ 子どもや家庭の個別の状況や要望は、決められた書式に記録しています。</li> <li>・ 入園後の子どもの成長発達記録として、健康診断結果や予防接種状況、発達経過等が記載された児童健康台帳があります。</li> <li>・ 子どもの記録内容は、施錠できる書庫に保管され、全職員で共有できるようになっています。</li> <li>・ 重要な申し送り事項が記載されたものとして、子どもの経過記録台帳があり、進級時に新担任へ伝達されます。</li> </ul>   |
| <p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特に配慮を要する子どもを受け入れています。</li> <li>・ 特に配慮を要する子どもについては、カリキュラム会議やケース会議で話し合い、記録をとっています。</li> <li>・ 担任や障がい児の担当者は西部地域療育センターや、専門の学校、横浜市などの研修を受けていて、受講後は研修記録を提出し、園内で回覧したり、職員会議等で発表したりして職員間で周知しています。</li> <li>・ 共有する情報は記録し、ファイリングしていつでも閲覧できるようになっています。</li> <li>・ 障がい児のために、トイレに手すりをつける等の環境整備に努めています。</li> <li>・ 保護者の同意を得て、区福祉保健センターなどの関係機関から助言や情報を得ています。</li> <li>・ 障がいの特性を考慮した個別指導計画を立て、記録もとっています。</li> <li>・ アレルギー疾患についても、職員は市主催の勉強会へ参加し、その結果を職員会議等で報告して全職員に周知するようにしています。</li> </ul> |

|   |  |
|---|--|
|   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食物アレルギーがある子どもへ代替食や除去食を提供する場合は、プライバシーに配慮された場所に置かれたホワイトボードに記入し、全職員が把握できるようにしています。また、該当の子どもの食事に関しては、名前を書いたトレーを使用し、誤食を防止しています。</li> <li>・ 文化の異なる子どもに対しては、文化や生活習慣や考え方の違いを認め、尊重しつつ接しています。漢字が読めない保護者の場合には、おたよりや連絡帳等にはふりがなをつけています。</li> </ul>   |
| <p>- 6 苦情解決体制</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要望や苦情の受け付け責任者および担当者は園長で、園のしおりに記載し、玄関にも掲示しています。</li> <li>・ 第三者委員 2 名の名前を園のしおりに記載し、さらに玄関ホールにも掲示して、保護者に直接第三者委員と相談できることを紹介しています。</li> <li>・ 玄関ホールに意見箱を設置して、保護者から苦情や要望を聞いています。</li> <li>・ 園のしおりの中に、「苦情解決制度について」として苦情解決の方法が記載されています。</li> <li>・ 保護者や近隣からの苦情は、所定の書類に記載しファイリングしています。</li> <li>・ 玄関ホールには、外部の相談先として区こども家庭支援課保育担当を紹介する書面を掲示しています。</li> </ul> |

## 評価領域 サービスの実施内容

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p data-bbox="161 344 472 383">- 1 保育内容[遊び]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各保育室には、子どもの発達に合わせて、積み木・ままごと・車・絵本・ブロック・電車などを用意し、子どもたちが自由に取り出して遊ぶことができるように準備しています。また、乳児クラスのおもちゃや絵本は、取り出しやすいように子どもの目の高さに合った所に置いています。</li> <li>・ 幼児クラスでも、おもちゃ・クレヨン・のり・粘土・お絵かき帳・色紙・鉛筆などを子どもの高さに合わせ、取り出しやすく使いやすい環境構成にしています。</li> <li>・ 保育士は子どもたちによく話しかけ、子どもの自由な発想を大事にし、子どもの意見を大切にして集団活動へと発展させています。</li> <li>・ 子どもたちは、ままごと遊び・サッカーごっこ・ジャングルジム・鬼ごっこなど、自分の関心や興味に合わせて自由に遊びこんでいます。</li> <li>・ 保育士は、次の活動に移る前には必ず子どもたちに約束事やルールなどを丁寧に話しています。</li> <li>・ 自由遊びでは、保育士は遊びの中に一緒に入ったり、遊びが途切れそうなときには助言したりして、子どもたちが興味をもって遊べるように援助しています。</li> <li>・ 子どもたちは、園庭にある畑で、野菜の種まき、草取り、収穫を体験し、給食で収穫した野菜を食べています。春にはアゲハチョウを幼虫から成虫になるまで飼育しました。またドジョウやクワガタ等も飼育しています。</li> <li>・ 子どもたちは、散歩や公園掃除等で地域の人たちとあいさつを交わし、話をしています。また、地域の高齢者グループホームや障がい者施設の人たちとも交流しています。</li> <li>・ 散歩では、年齢・発達に合わせて遠くまで散歩に出かけています。園庭では、全身を使って思いっきり遊ぶことができるように心がけて接しています。</li> <li>・ 子ども同士のけんかについて保育士は、乳児の場合は、けんかになりそうな場合には関心をほかに向けさせたり、別のおもちゃを与えるなどしています。幼児の場合は、しばらく様子を見て、子どもだけで解決できるようであれば子ども同士で解決するのを見守ります。解決できそうにない場合はよく話し合うようにと助言をしたり、双方の言い分を聞いたりして、解決できるように仲立ちしています。</li> </ul> |

## - 1 保育内容[生活]



- ・ 食事について保育士は、子どもたちの喫食状況を見ながら、食が進まない子どもには「もう少し食べてみようか」とか「上手に食べられたね」「すごーい」「えらかったね」などの声をかけ、子どもたちの食べる意欲を引き出しています。
- ・ 子どもたちは、次の日の給食のカレーの材料となる玉ねぎの皮をむいたり、人参の皮を皮むき器でむいたりという体験を通して、食への関心を高めています。
- ・ 幼児は食事当番を体験しています。また、食後は食器を自分で運んで片付けています。
- ・ 栄養士は、季節の食材を使用した食事づくりを心がけています。七夕メニューとして、そうめん人参を星型にして飾ったり、お誕生会ではお子様ランチ風のメニューを出したりなどの工夫をしています。
- ・ 食材は、できるだけ近所の店から国産のものを仕入れるようにしています。また、食器は安全性を考えて陶器のものを使用しています。
- ・ 献立は、2週間ごとの繰り返しメニューを取り入れています。1回目はその食材が食べられなくても、2回目には食べられるように調理方法を工夫して取り組んでいます。
- ・ 栄養士は、子どもたちの喫食状況を見てまわっています。また、残食の記録があります。
- ・ 月に1回給食会議を行い、アレルギーの問題や食育等について話合っています。給食会議には調理担当職員、園長、主任、担任保育士が参加しています。
- ・ 献立表を作成し、事前に配布しています。園だよりの中に「給食室より」というコーナーがあり、食材のことや食事に関する話を紹介しています。また園だよりの中で調理のレシピも紹介しています。さらに、園のホームページに「今日の給食」の写真を毎日紹介していて、園内にも同じ写真を掲示し、保護者へ伝えていきます。
- ・ 保護者向けの試食会として11日間の期間を設け、保護者が参加できる日を選んでもらっています。
- ・ 乳幼児突然死症候群（SIDS）対策として、1、2歳児の午睡時には、10分ごとに呼吸をチェックし午睡チェック表に記録しています。
- ・ 排泄に関しては、一人ひとりのリズムをとらえ個人差に配慮して取り組んでいます。また、園での排泄状況を連絡帳に記載し、保護者とも連携を取りながら進めています。

## - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・ 健康管理に関することは、保育マニュアルやデイリープログラム、園のしおりに記載されていてマニュアルとしています。
- ・ 一人ひとりの児童健康台帳があり、予防接種・病気の記録・感染症記録など細かく記載し、子どもの健康状態を把握しています。また既往症に関しては、保護者とのコミュニケーションや連絡帳で常に情報を得られるようにして、関係する職員には周知しています。
- ・ 子どもの日々の健康状態については、その日のミーティングで確認して職員間で周知しています。保護者には登降園時に伝えたり、連絡帳に記載したりして、連携を取って対処しています。

|  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科医から歯磨き指導を受けています。3歳児までは保育士が仕上げ磨きを行っています。</li> <li>・ 一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録があり、診断の結果は、書面で保護者へ伝えていきます。</li> <li>・ 感染症マニュアルがあり、登園停止基準や感染症の疑いが生じた場合の対応が記載されています。園のしおりにも感染症についての記載があり、保護者へ周知しています。</li> <li>・ 感染症が発生した場合は、症状・注意事項などを記載したものを、クラスノートのそばに置き、保護者へ周知しています。また保育室の出入り口には、「インフルエンザの対応について」「感染症に気をつけよう」などを掲示し、保護者へ注意を喚起しています。</li> </ul>   |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生管理・清掃マニュアルがあります。マニュアルは、カリキュラム会議や職員会議で話し合い、具体的な改善事項を検討し、見直しを図っています。</li> <li>・ マニュアルに基づき清掃が行われ、チェック表で管理をしています。汚物を処理する場合には使い捨て手袋を使用しています。</li> </ul>  |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理に関するマニュアルがあり、怪我対応マニュアル・防災マニュアル・防犯マニュアル・不審者侵入時対応マニュアルなどがとじられています。</li> <li>・ ピアノ等の転倒防止対策を講じています。また高いところに物を置かないように職員間で周知しています。</li> <li>・ 防災訓練、避難訓練、交通安全訓練などを毎月実施し、さらに子どもたちと一緒に広域避難場所までの避難訓練も行っています。</li> <li>・ 小児救急救命法の研修を受け、職員で勉強会も行っています。</li> <li>・ 保護者や救急機関、地域への連絡体制ができていて、事務室の壁面にその連絡先を記載したものを掲示しています。</li> <li>・ 子どものケガは、軽傷であっても必ず保護者へ口頭で伝え、連絡帳にも記載しています。また日誌やミーティングノートにも記載しています。病院にかかったケガについては、報告書に記載し、職員間で周知しています。</li> <li>・ 職員は不審者対応の研修を受けています。また、警備会社とも契約して不審者対応策としています。</li> <li>・ 不審者情報は、区役所や小・中学校および近隣からも入るようになっています。</li> </ul> |

### - 3 人権の尊重



- ・子どもに対して威圧的な言葉遣いや無視をしたり自尊心を傷つけたりといった保育が行われないように、ケース会議や勉強会で人権尊重について学んだり、人権に関する自己点検リストで振り返りを行ったりしています。
- ・子どもに対して、強制や制止する言葉を不用意に用いないよう配慮をし、「 の時間になったらお片づけしよう」など、せかすことなく目標を設定して次の行動を促しています。
- ・保育室にはダンボールが用意され、子どもたちが自由に出し、丸めたり立てたりして、友だちや保育士の視線を意識せずに過ごせる空間を確保できるように工夫しています。
- ・個人情報保護に関するマニュアルが整備され、全職員に配付しています。また、理事は守秘義務について年1回の辞令交付式で話し、全職員から誓約書を取っています。
- ・ホームページへの写真掲載については、全保護者から署名捺印による同意を取っています。
- ・児童相談所の相談指導担当者を招いて、虐待の定義や発見のポイントを全職員で学んでいます。また、虐待対応に関するマニュアルが職員に配付され、共通認識のもとで対応できるようになっています。
- ・園長は職員にジェンダーフリーの話をし、「男の子だから」「女の子だから」という固定概念を持たないように、注意を促しています。

### - 4 保護者との交流・連携



- ・保育理念や園目標等については、各保育室や玄関に掲示し、入園の際と4月のクラス懇談会で、園長が保護者に説明しています。
- ・毎月園だよりとクラスだよりを発行し、保護者に保育理念等が理解されるように努力していますが、理解度を把握するための取り組みはしていません。
- ・連絡帳は全園児が持っています。1、2歳児クラスは毎日、健康状態などについて保護者と情報交換を行っており、幼児クラスは、3~5日に1回程度、必要な情報交換を行っています。
- ・個人面談は、年2回、期間を設定して実施しています。1回目の個人面談は全保護者と実施し、2回目の個人面談は希望者を対象に行っています。
- ・クラスの様子は、毎日のクラスノートやホームページの写真、毎月発行される園だより・クラスだより、年2回のクラス懇談会を通して丁寧に情報提供されています。
- ・保護者からの相談は、状況に応じて事務室を使うなど、プライバシー等に配慮しています。
- ・保育参加は年2回（1、2歳児クラスは年1回）、5日間ずつ「保育参加週間」を設けて、保護者が参加しやすいように配慮して実施しています。
- ・保育参観は1年を通じて行っており、随時保育参観が可能だということは入園時に説明をしています。
- ・保護者の自主的な組織として父母の会があり、園としても園長が中心となり連携を取っています。父母の会では主要行事の実行委員会を設置し、組織的に活動をしています。

- ・ 父母の会役員の中で民営化対応委員が2名選任されており、必要に応じて三者協議会（保護者・園・市）が開ける体制となっています。

## 評価領域 地域支援機能

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一時保育、交流保育、施設開放、育児相談、育児講座を行っています。施設開放としては月曜から金曜までの園庭開放、火曜に行われる園庭での遊びの会「おたのしみの日」、月に1回の土曜園舎開放のほかプール開放も実施し、育児講座ではベビー体操、小児救急救命法の講習を行いました。</li> <li>・ 施設開放の担当保育士は、参加した保護者から要望を聞いています。育児講座でのアンケート調査や、毎週行っている育児相談での聞き取りからも地域のニーズを把握し、対応を検討しています。</li> <li>・ 地域の子育て支援ニーズについて、園長は関係機関、他施設、自治会とともに検討しています。</li> </ul> |
| <p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園のフェンスには地域に向けた掲示板があり、園のお知らせや健康に関する情報を伝えています。また玄関内には、地域の子育て支援に関するパンフレットが置いてあります。</li> <li>・ 定期的に育児相談を行っており、希望がある場合は随時対応しています。園庭開放の際は、保護者が気軽に担当保育士に相談しています。</li> <li>・ 関連機関との連携は園長が担当し、必要な場合は速やかに対応できる体制になっています。</li> </ul>  |

評価領域 開かれた運営

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）  |
|--|--|
| <p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の行事である夏祭り、運動会、お店屋さんごっこ、人形劇の観賞などに地域の人を誘い、喜ばれています。また、地域に向けて絵本の貸し出しを行っています。</li> <li>・園児は、散歩、公園清掃、近所への買い物などの際、地域の人たちとあいさつを交わすなどの交流をしています。また、来園するボランティアと園児は自然に交流しています。</li> <li>・小学校で園児に給食体験・学校探検をさせてもらい、一方園内では中学生のボランティア体験や職業体験を受け入れて、学校教育との連携をはかっています。</li> <li>・地域の一員として自治会に入り、行事の前には近隣に手紙を配布して、良好な関係を築いています。</li> <li>・瀬谷区のイベント「せやっこまつり」へ参加したり、地域の高齢者グループホーム、障がい者活動ホームと定期的に交流を図ったりしています。</li> </ul> |
| <p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の情報は、区の広報紙や市のホームページに掲載されています。</li> <li>・園のホームページがあり、理念、職員体制などの記載とともに、子どもの様子や給食内容も毎日伝えています。園のパンフレットも作成していて、一時保育についての記載もあります。</li> <li>・利用希望者からの問い合わせには常時対応しており、見学も希望者の都合に合わせて随時対応しています。</li> </ul>   |
| <p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアや実習生は園長が窓口となって受け入れ、マニュアルに基づいて園の方針を説明しています。職員・利用者には受け入れについての説明や紹介をしています。</li> <li>・ボランティアとして、中学生の職業体験を受け入れ、また、地域の人に園の畑の手入れなどをしてもらっています。</li> <li>・学生等の保育実習を受け入れています。実習生の希望に沿って担当するクラスを決めるなど、プログラムについては柔軟に対応しています。</li> <li>・実習やボランティアの終了後、実習生と職員は意見交換を行っていますが、ボランティアには感想を聞くのみにとどまっています。</li> </ul>  |

評価領域 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p>- 1 職員の人材育成</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理想の職員像として、「子どものことが第一と考えられる人、保育に夢(目標)をもつ人、心身ともに健康な人、その場にに応じていろいろな遊びができる人」を掲げています。</li> <li>・ 人材育成の基盤として、園長は「今は、興味のある分野を勉強する気持ちを育てたい」と考えています。年4回、職員は個人目標を既定の書式に書き、園長がそれをもとに目標やその達成状況を確認し、外部研修などの自主的な研修参加を促しています。</li> <li>・ 年間の研修計画は立てていますが、人材育成計画の作成には至っていません。職員個々が段階的にスキルアップし将来像が描けるように、職員個々の目標と達成状況について園長と意見交換する機会を通して、目標と連動した人材育成計画を策定することが望まれます。</li> <li>・ 年間30回以上の外部研修と、外部講師を招いた年4回の園内研修を計画しています。またそのほかに、各職員の目標に準じて参加する研修や、随時行う勉強会があり、充実した研修体制を確立しています。</li> <li>・ 非常勤職員も正職員と同様に、職員会議や外部研修に参加し、資質向上の取り組みを行っています。</li> <li>・ 「保育マニュアル」は、非常勤職員も含む全職員に配付され、マニュアルに関する勉強会も行っています。</li> </ul> |
| <p>- 2 職員の技術の向上</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勉強会や毎月の職員会議で、個々の保育の方法を話し合う機会があります。また、全職員に配付されている「保育マニュアル」には自己点検の項目が記され、日常的に振り返りができるように工夫されています。</li> <li>・ 職員個々に立てる年4回の目標に対する反省や、行事の反省を通して、定期的に自己評価をする機会を設けています。</li> <li>・ 保育の技術向上を目指し、4・5歳児クラスの担任は他園を見学し、オープン保育について学んでいます。</li> <li>・ 前任の園長、横浜市子ども青少年局保育運営課の園長経験者、西部地域療育センター、区福祉保健センターの保健師などから保育技術の評価・指導を受ける仕組みがあります。</li> </ul>   |
| <p>- 3 職員のモチベーション維持</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 週案、日々の保育、散歩先や食育については、現場の職員に可能な限り権限を委譲し、子どもの状況に応じて自主的に判断できるようにしています。</li> <li>・ 乳児会議や幼児会議から上がった職員からの意見や提案は、職員会議やカリキュラム会議の議題として取り上げることがあります。例えば、雨のため途中中止となってしまった運動会の一部プログラムを、後日ミニ運動会として実施するなど、時には「父母の会」とも話し合い、実行しています。</li> <li>・ 職員の満足度や要望については、事前に記入した用紙をもとに、年1回の副理事長面接で把握しています。来期からは、この面接は園長が担当することになっています。</li> </ul>  |

評価領域 経営管理

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p>- 1 経営における社会的責任</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 守るべき法・規範・倫理は、「職員就業規則」に記されています。また、全職員に配付される「保育マニュアル」には、全国保育士会倫理綱領、職員心得、保育士の心がまえ、児童憲章、児童権利宣言および、子どもの権利条約がとじてあり、辞令式や勉強会で周知されています。</li> <li>・ 経営、運営状況等の情報として、園内2ヶ所に、「運営状況の内容を参照されたい方は園長か事務長までお申し出下さい」という掲示をして、いつでも閲覧対応ができるように、運営状況を「会計実務計算書」ファイルにまとめています。</li> <li>・ 環境についてはさまざまな取り組みをしています。子どもと共に隣接する公園を週1回清掃し、花を植えたり、消滅型生ゴミ処理機を使い、残飯を肥料に変え、園の畑に用いたり、保育室にゴミ箱を2種類用意し、子どもが進んで燃えるゴミとプラスチックゴミを分別するなど、子どもと共に環境保護に取り組んでいます。</li> </ul> |
| <p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育理念等は、職員に対して辞令交付式で説明・配付されるとともに、マニュアル勉強会で復唱し周知しています。</li> <li>・ 重要な意思決定にあたり、「父母の会」と継続的に意見交換をする体制があります。また、父母の会役員の中で民営化対応委員が2名選任されており、必要に応じて三者協議会（保護者・園・市）が開ける体制となっています。</li> <li>・ 主任は、年5回実施される横浜市の主任保育士講座の受講、民間移管前の前任の園長による実習や系列園の主任を訪問し学びあうことで、スーパーバイザーとしての技量を習得しています。</li> </ul>  |
| <p>- 3 効率的な運営</p>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業運営に関する情報は、園長会、全国保育協議会、日本保育協会、横浜市社会福祉協議会や瀬谷区社会福祉協議会等から入手しています。新保育所保育指針など、重要な情報は職員間で勉強会を開き、園全体の取り組みとしています。</li> <li>・ 次代の組織運営に備え、中長期計画で、園舎建て替えや、0歳児保育の開始について検討しています。それに向けて、0歳児保育について外部研修を受講するなど、着実に準備を進めています。</li> <li>・ 民間移管後2年目ということもあり、次代の施設運営を見据えた後継者育成には至っていません。</li> </ul>  |

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

### 【阿久和保育園】

- 1、実施期間 2009年10月15日～10月31日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 約87.1%（62枚配付、54枚回収）
- 4、所属クラス 1歳児クラス...8人、2歳児クラス...8人、3歳児クラス...12人、  
4歳児クラス...13人、5歳児クラス...13人

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

文中の「満足」「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、  
「不満」は、「不満」・「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

### 設問ごとの特徴

#### 【問1】保育園の基本理念や基本方針について

理念や基本方針を知っている保護者は70%弱です。このうち90%程度の保護者が「賛同できる」「ほぼ賛同できる」としています。意見欄には、“自然とたくさんふれ合いながら多くのことを学んでいると思う”という記述があります。

#### 【問2】入園時の状況について

入園時の状況に関する満足度は、ほとんどの設問において80%前後となっています。その中で満足度が高かったのは「園の目標や方針についての説明」が85%、続いて「費用やきまりに関する説明」が83%です。一方、「見学の受け入れについて」は70%弱の満足度となっており、意見欄には“見学していないので分からない”という意見が多くみられました。その他には、“民間になってから、分りやすいのではないかと思う”“不慣れな印象だった”“見学の際、子どもと触れあうことはほとんどせず、不安を覚えた”などさまざまな意見が出ています。

#### 【問3】年間の計画について

年間の計画については、「年間の保育や行事についての説明」「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」とともに、80%以上の満足度となっています。意見欄には、“年間計画表をもらっていて、説明はきちんとある”といったものや、“具体的な内容が直前にならないと分らない傾向がある”という意見がいくつか出ています。

#### 【問4】日常の保育内容「遊び」「生活」について

「遊び」の項目は、6つの設問すべてにおいて、85%以上の満足度となっています。その中でも満足度が高かった設問は、「クラスの活動や遊び（子どもが満足しているかなど）」「戸外遊びを十分しているか」の2つで、90%以上の満足度となっています。“おもいっきりどろんこ”や“おもいっきり絵の具”などは本当に良いと思っている”“園外散歩や公園清掃など、地域と触れあった活動をしていて、普段の生活にもその体験が生かされている場面もあり、これからもどんどん行ってほしい”という意見が上がっている一方、“年長組については小学校に向けての遊びも取り入れてもらえると良い”“子どもに課題を与えてほしい”という意見も上がっています。

「生活」の項目では、設問によって満足度に差が出ています。満足度の高い設問は「給食の献立内容」と「子どもが給食を楽しんでいるか」で、ともに95%程度の満足度となっています。その他の設問は、80%

後になっています。意見欄には、“子ども同士のケンカやかみつきは、された子の親だけでなく、してしまった子の親にも知らせてもらっている”“オムツはずしはいろいろとアドバイスしてもらいとても良かった”や、“年長クラスの子に関しては、昼寝はなくしてほしい”という意見が出ています。

#### 【問5】快適さや安全対策などについて

満足度は設問ごとにバラツキがあります。満足度の高い設問としては、「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」について90%以上の保護者が満足しています。一方「施設設備について」の満足度は70%に満たず、「不審者侵入を防ぐ対策について」が75%程度となっています。意見欄には“きれいにしてくださっているが、園舎が古い”など、園舎に対する意見や不審者対策に関する意見が中心に上がっています。

#### 【問6】園と保護者との連携・交流について

満足度の分布は、80%台を中心に、70%台後半から90%台後半となっています。特に満足度が高いのは「園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供」が98%で、全設問の中で最も満足度の高い数値となっています。続いて「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」が92%の満足度となっています。意見欄には、“担任の先生からはよく当日の様子を教えてもらえる”という意見がいくつかあります。また、“今日の子どもの様子を担任の先生以外でも、少し話してくださると安心できる”や“朝伝えたことが、お迎えの担当まで伝わっていないことがある”という意見も出ています。

#### 【問7】職員の対応について

職員の対応については、設問ごとに満足度のバラツキが多少見られますが、おおむね満足されています。満足度の高い設問は「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」が95%程度、「子どもが大切にされているか」が90%程度となっています。意見欄には“愛情をもって接していただいていると思う”や“担任の先生は話しやすい”という意見がいくつか出ています。

#### 【問8】保育園を総合的に評価すると

総合満足度は、約90%です。内訳として、「満足」が約40%、「どちらかといえば満足」が約50%となっており、「どちらかといえば不満」が約10%です。

#### 【問9】園への要望など

“子どもが保育園生活を楽しんでいるようなので、感謝している”といった肯定的な記述が多く出ています。要望としては、“0歳からの受け入れ”や“駐車場について”の意見が数件ずつ出ています。

#### まとめ

##### ◇ 満足度が高かった点

全体的な傾向としては、「遊び」、「給食」、「懇談会や個別面談等の機会」や「園の様子、行事や感染症に関する情報提供」「子どもが園生活を楽しんでいるか」の満足度が90%以上となり、遊び・給食・保護者との連携・交流について高い満足度を示しています。たとえば“よく外で遊んでいるようなので、体をたくさん動かして遊べて子どもにとっても良いことだと思う”などの意見が出ていて、園の目標「自然の中でたくましく育ち合う子ども」の実践に、保護者が共感している様子がうかがえます。

##### ◇ 不満が多かった点

一方、不満の数値が高かった設問として、「施設設備」が30%、続いて「不審者侵入対策」について25%の保護者が不満を感じています。“園舎の老朽化が目立つ”“トイレが少し暗い”という意見や“不審者対策には力を入れてほしい”の意見が上がっています。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

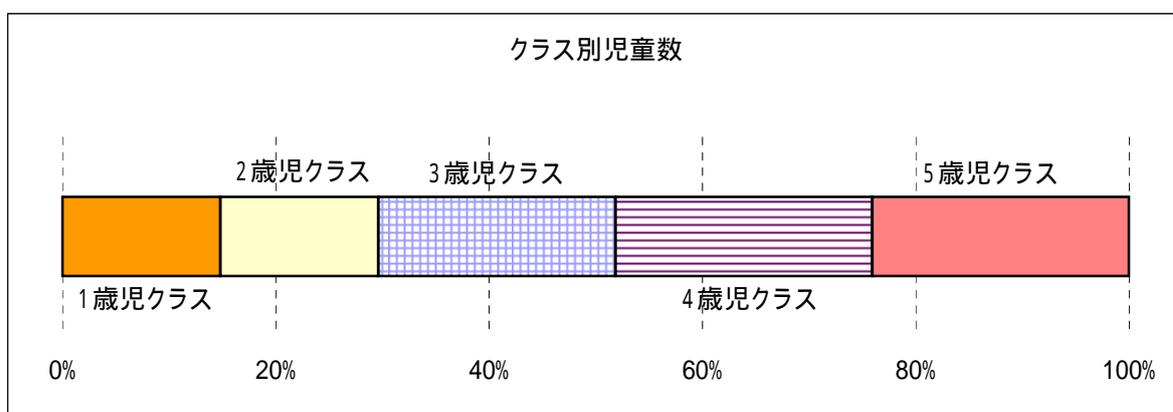
実施期間： 2009年10月15日～10月31日

回収率： 87.1%（回収54枚／配布62枚）

### 【属性】

| クラス別児童数 |        |        |        |        |        |        | (人) |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 合計      | 0歳児クラス | 1歳児クラス | 2歳児クラス | 3歳児クラス | 4歳児クラス | 5歳児クラス | 無回答 |
| 54      | 0      | 8      | 8      | 12     | 13     | 13     | 0   |

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



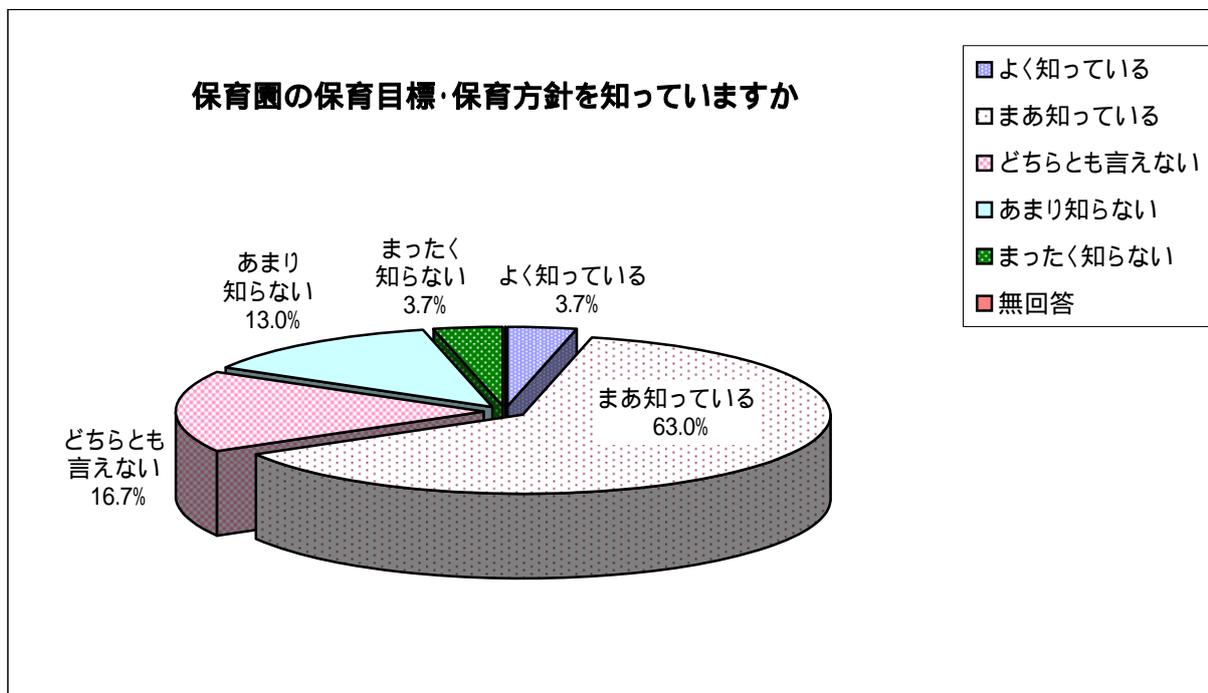
# 保育園の基本理念や基本方針について

## 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

| 問1:                       | よく知っている | まあ知っている | どちらとも言えない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 | 計   |
|---------------------------|---------|---------|-----------|---------|----------|-----|-----|
| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか | 3.7     | 63.0    | 16.7      | 13.0    | 3.7      | 0.0 | 100 |

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

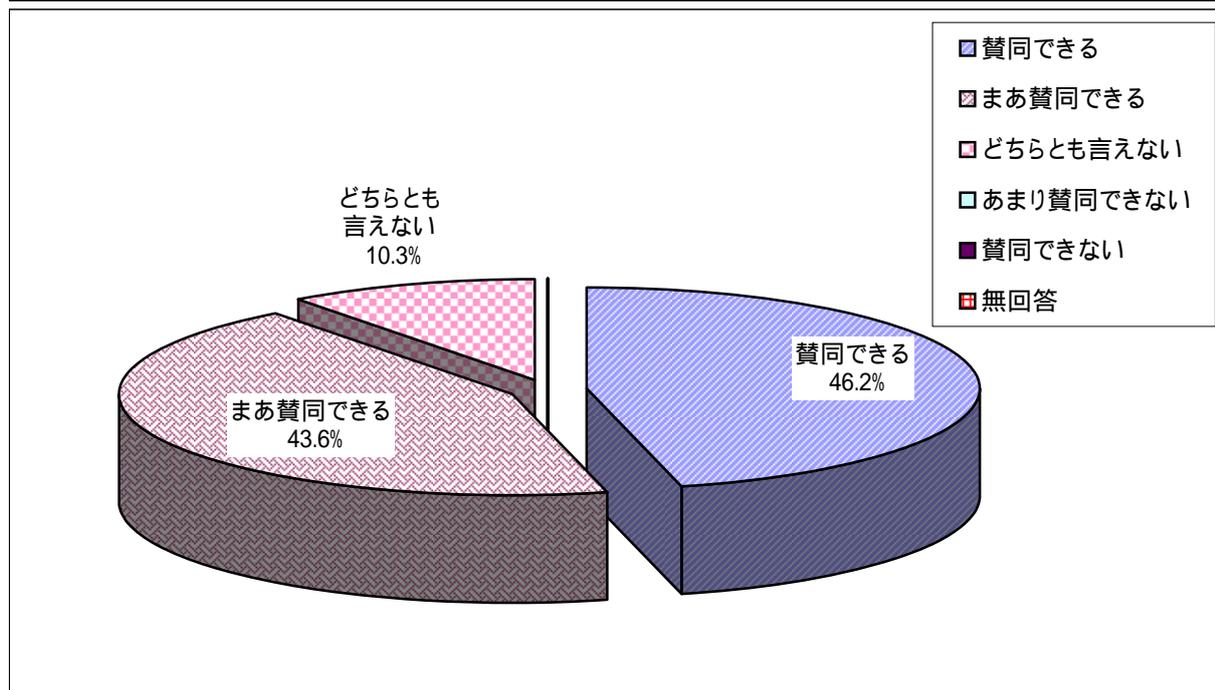


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

## 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

| 付問1:                            | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらとも言えない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答 | 計   |
|---------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|-----|-----|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 46.2  | 43.6    | 10.3      | 0.0       | 0.0    | 0.0 | 100 |



# 保育園のサービス内容について

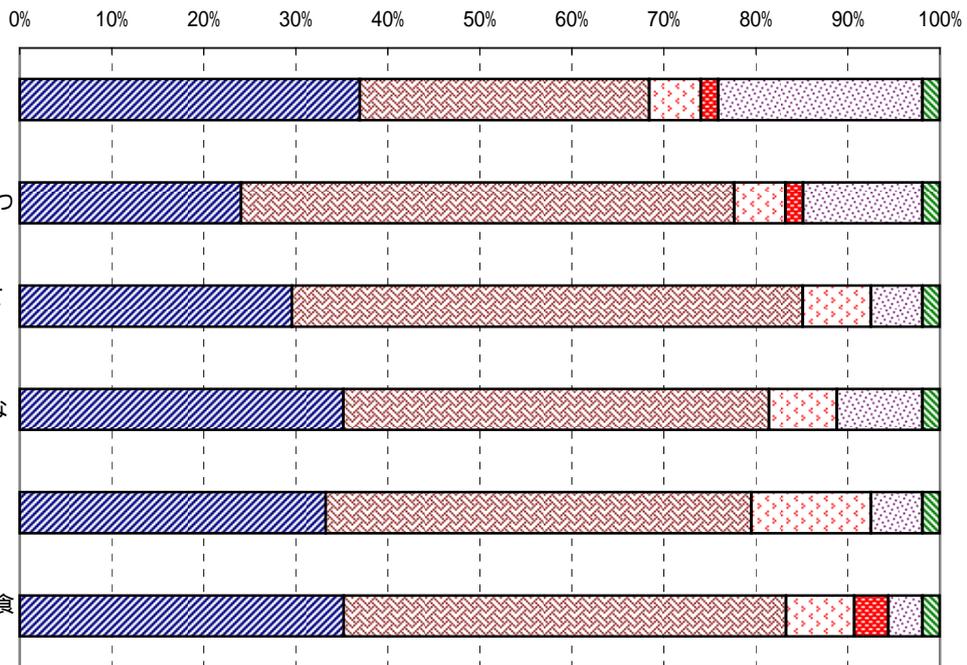
## 問2 入園時の状況について

(%)

|   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他  | 無回答 | 計   |
|---|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 見学の受け入れについて                             | 37.0 | 31.5       | 5.6        | 1.9 | 22.2 | 1.9 | 100 |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については               | 24.1 | 53.7       | 5.6        | 1.9 | 13.0 | 1.9 | 100 |
| 園の目標や方針についての説明には                        | 29.6 | 55.6       | 7.4        | 0.0 | 5.6  | 1.9 | 100 |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には          | 35.2 | 46.3       | 7.4        | 0.0 | 9.3  | 1.9 | 100 |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には                   | 33.3 | 46.3       | 13.0       | 0.0 | 5.6  | 1.9 | 100 |
| 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて) | 35.2 | 48.1       | 7.4        | 3.7 | 3.7  | 1.9 | 100 |

### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



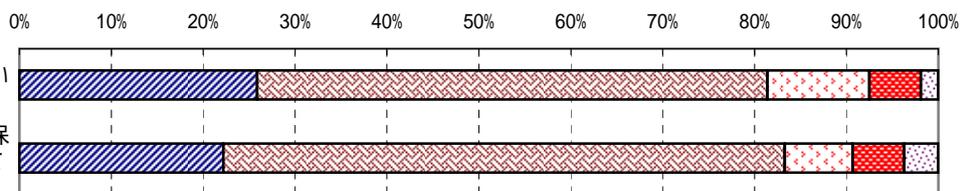
## 問3 年間の計画について

(%)

|                                | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|--------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には              | 25.9 | 55.6       | 11.1       | 5.6 | 1.9 | 0.0 | 100 |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 22.2 | 61.1       | 7.4        | 5.6 | 3.7 | 0.0 | 100 |

### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



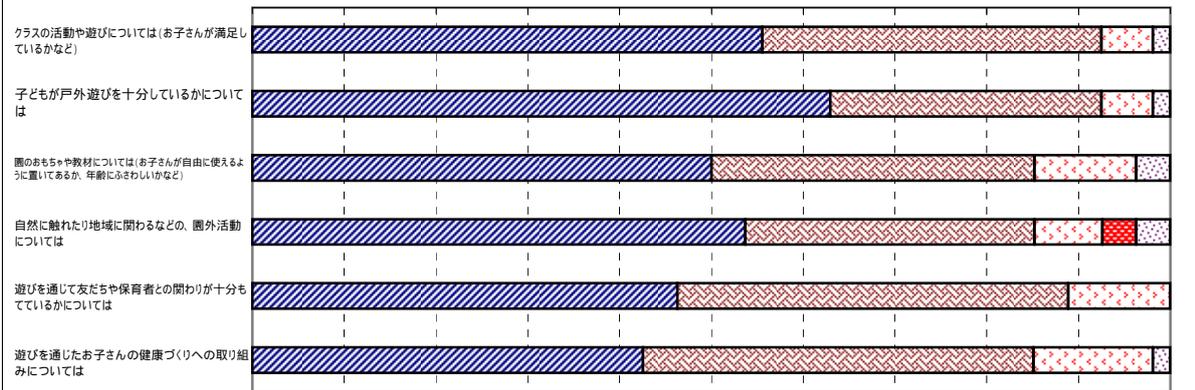
### 問4 日常の保育内容について

(%)

| 「遊び」について   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|--|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)                   | 55.6 | 37.0       | 5.6        | 0.0 | 1.9 | 0.0 | 100 |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては                            | 63.0 | 29.6       | 5.6        | 0.0 | 1.9 | 0.0 | 100 |
| 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 50.0 | 35.2       | 11.1       | 0.0 | 3.7 | 0.0 | 100 |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については                       | 53.7 | 31.5       | 7.4        | 3.7 | 3.7 | 0.0 | 100 |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては                 | 46.3 | 42.6       | 11.1       | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては                      | 42.6 | 42.6       | 13.0       | 0.0 | 1.9 | 0.0 | 100 |

#### 日常の保育内容「遊び」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

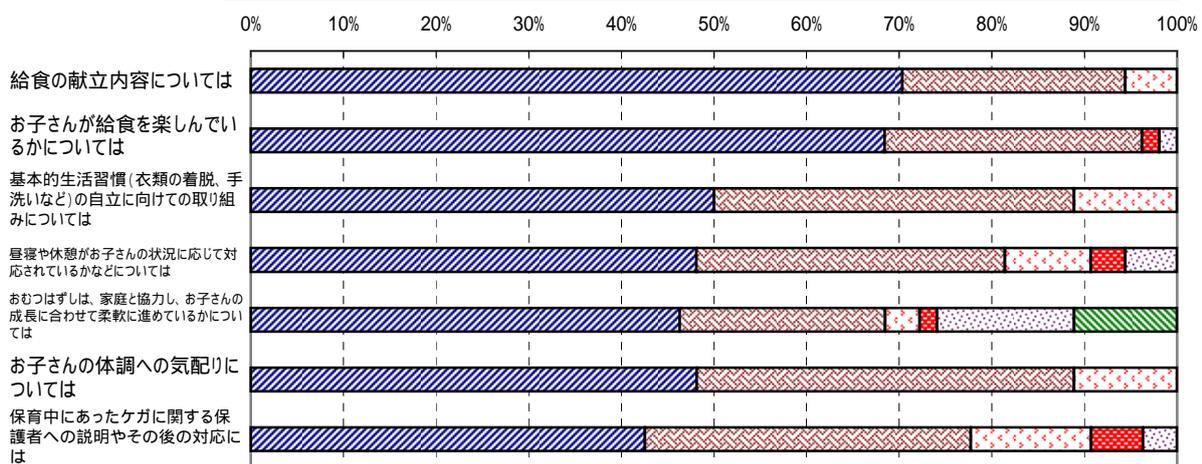


(%)

| 「生活」について                                  | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他  | 無回答  | 計   |
|---|------|------------|------------|-----|------|------|-----|
| 給食の献立内容については                              | 70.4 | 24.1       | 5.6        | 0.0 | 0.0  | 0.0  | 100 |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては                      | 68.5 | 27.8       | 0.0        | 1.9 | 1.9  | 0.0  | 100 |
| 基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては    | 50.0 | 38.9       | 11.1       | 0.0 | 0.0  | 0.0  | 100 |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては          | 48.1 | 33.3       | 9.3        | 3.7 | 5.6  | 0.0  | 100 |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 46.3 | 22.2       | 3.7        | 1.9 | 14.8 | 11.1 | 100 |
| お子さんの体調への気配りについては                         | 48.1 | 40.7       | 11.1       | 0.0 | 0.0  | 0.0  | 100 |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には             | 42.6 | 35.2       | 13.0       | 5.6 | 3.7  | 0.0  | 100 |

#### 日常の保育内容「生活」について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



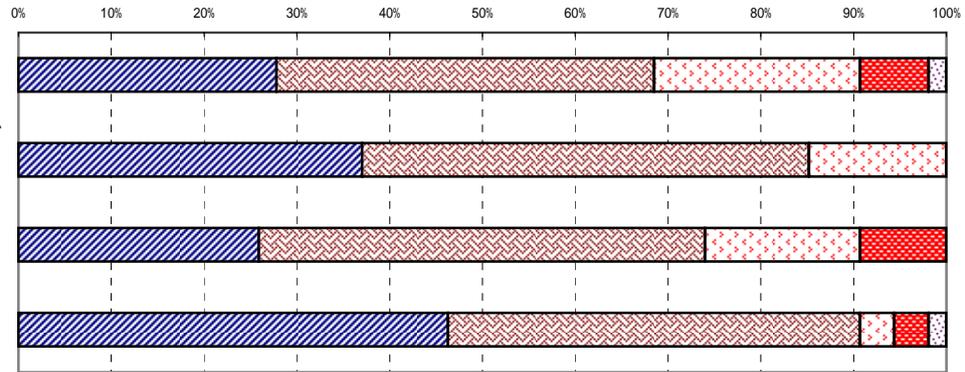
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

|                               | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|-------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 施設設備については                     | 27.8 | 40.7       | 22.2       | 7.4 | 1.9 | 0.0 | 100 |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては | 37.0 | 48.1       | 14.8       | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については          | 25.9 | 48.1       | 16.7       | 9.3 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については     | 46.3 | 44.4       | 3.7        | 3.7 | 1.9 | 0.0 | 100 |

#### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



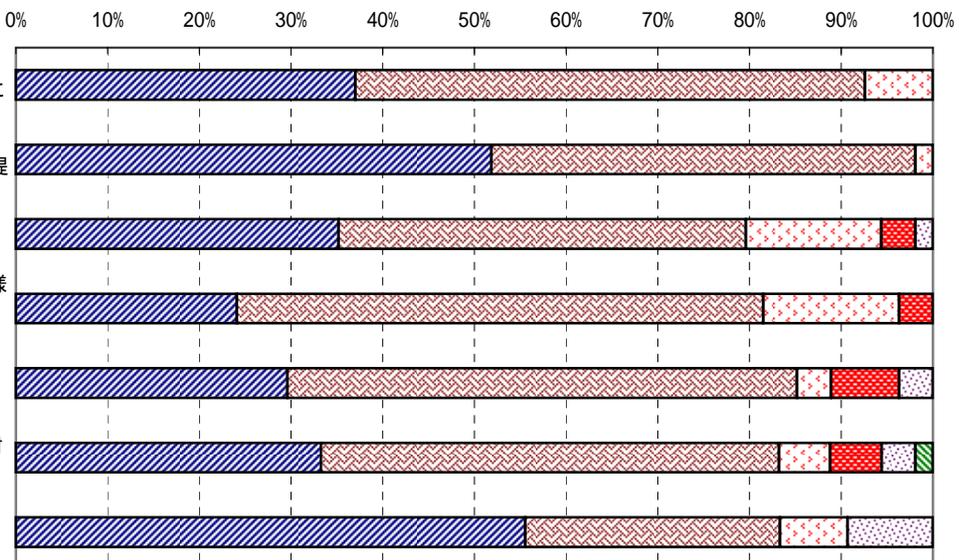
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

|   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|---|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については              | 37.0 | 55.6       | 7.4        | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については           | 51.9 | 46.3       | 1.9        | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については                     | 35.2 | 44.4       | 14.8       | 3.7 | 1.9 | 0.0 | 100 |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については               | 24.1 | 57.4       | 14.8       | 3.7 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については                   | 29.6 | 55.6       | 3.7        | 7.4 | 3.7 | 0.0 | 100 |
| 保護者からの相談事への対応には                           | 33.3 | 50.0       | 5.6        | 5.6 | 3.7 | 1.9 | 100 |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 55.6 | 27.8       | 7.4        | 0.0 | 9.3 | 0.0 | 100 |

#### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



### 問7 職員の対応について

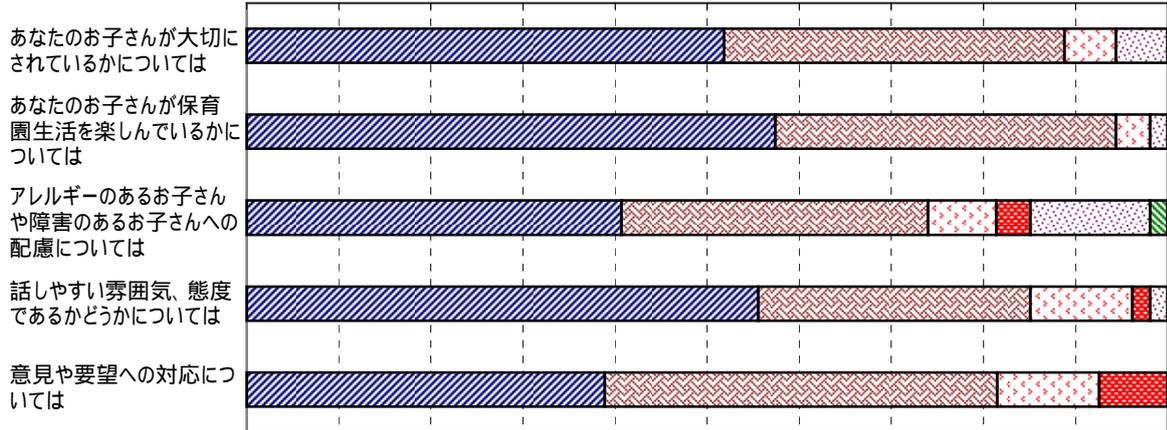
(%)

|                                 | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他  | 無回答 | 計   |
|---------------------------------|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては         | 51.9 | 37.0       | 5.6        | 0.0 | 5.6  | 0.0 | 100 |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては    | 57.4 | 37.0       | 3.7        | 0.0 | 1.9  | 0.0 | 100 |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 40.7 | 33.3       | 7.4        | 3.7 | 13.0 | 1.9 | 100 |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては         | 55.6 | 29.6       | 11.1       | 1.9 | 1.9  | 0.0 | 100 |
| 意見や要望への対応については                  | 38.9 | 42.6       | 11.1       | 7.4 | 0.0  | 0.0 | 100 |

#### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

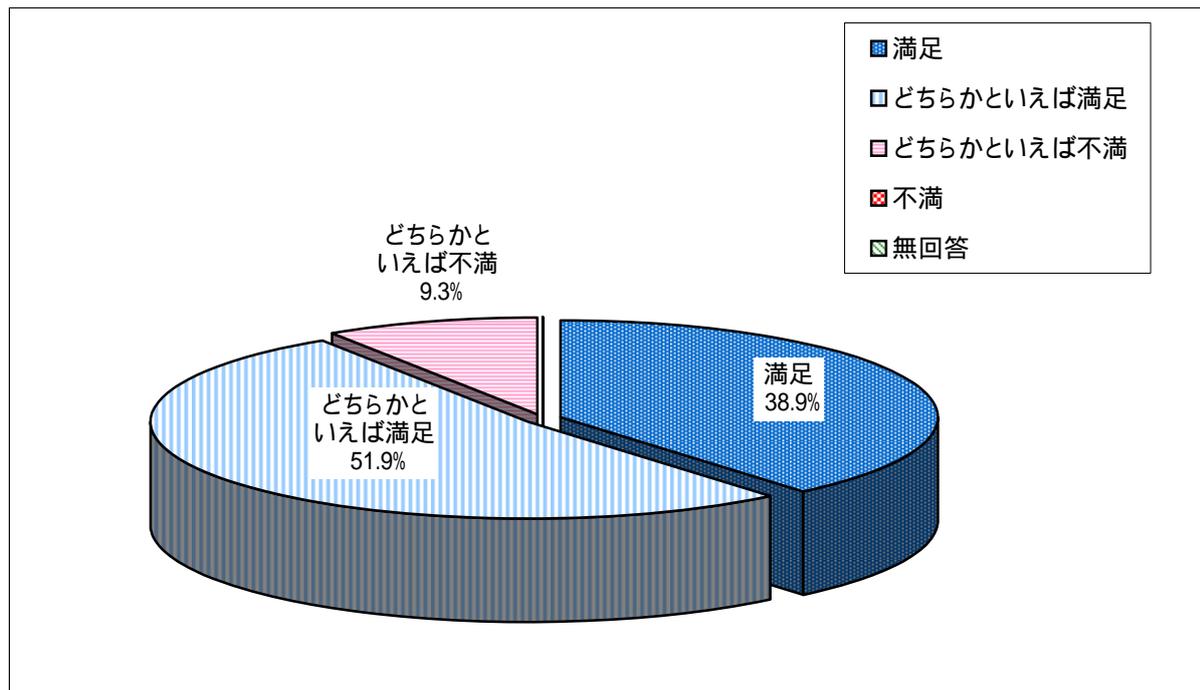
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

|        | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | 無回答 | 計   |
|--------|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 総合満足度は | 38.9 | 51.9       | 9.3        | 0.0 | 0.0 | 100 |



## 利用者（園児）本人調査 分析

【阿久和保育園】

観察調査 11月20日（金）9：10～12：30 11月24日（火）8：45～12：30

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### 1歳児クラス

登園の際、保育士はその日の体調などを保護者に確認します。保護者が「トイレができるようになったんですよ」と報告すると、保育士は「おーすごい！先生も見たいな」と子どもを見て声かけをしています。そして、保育士は登園してきた子どもに体温測定をします。

朝の時間は、室内に童謡などの音楽が流れ、既に登園している子どもは、音楽に合わせて体を揺らしたり、積み木、車、ままごと、絵本を自由に取り出して遊んだり、思うままに楽しんでいます。保育士は子どもの話や行動によく気を配っています。

おやつの前には、全員でおもちゃを片付けます。そして、手洗いを済ませると保育士が「お手てキレイになった人」と声かけをし、子どもは「はい」と答えています。そして「お背中ピツ、手はおむね」「いただきます」のあいさつで食べ始めます。おかわりをせがむ子どもに、保育士は「おかわりくださいというのよ」と優しく教えています。

おやつが終わると、保育士は「おしっこしよう」と声をかけ、子どもは棚から自分のおむつを取りだし、それを持って保育士のところに行きます。おしっこができた子は、「すごい」と声をかけられています。

朝の会では、「おはようの歌」であいさつをし、「大きな栗の木の下で」を歌い、手遊びをします。その後、遊戯の練習が始まります。曲をかけると子どもたちは踊り出し、保育士は一人ひとりに声をかけて一緒に踊ります。

10時になると園庭に出ます。小さな山の上から輪を転がしたり、かけっこや三輪車を出して遊んだり思い思いの遊びが始まります。輪の取り合いが始まると、保育士は「倉庫から ちゃんの輪を取ってこようね」と声かけをし、二人を倉庫に導き様子を見ています。

保育室に戻ると、トイレを済ませ、紙芝居を読んでもらいます。そして、給食の準備が始まります。エプロンを自分でできない子どもが「やって」と保育士に言うと、「そうよ、お口で言えたね」とほめています。

給食は、スプーンで食べる子、手で食べる子といろいろです。保育士は、テーブルにお茶がこぼれているのを見つけて「そんなときは、お茶がこぼれているというのよ」と優しく教え、子どもは「こぼれたよ」と上手に話すことができました。

### 2歳児クラス

朝は、おやつの時間まで保育室で自由に遊んでいます。色紙を貼っているダンボールを丸めて遊んだり、積み木で音を立てて楽しんだりする子どもの姿が見られます。保育士は、危ない遊びには「よそうね」「布団に乗ってはいけません」と注意をし、いけないことを分かりやすく伝えながら、おやつの準備や布団のカバー掛けを行っています。

おもちゃの片付けが終わると、丸くなって座ります。「おはようございます」の後は、保育士1名が子どもに絵本を読み、その間ほかの保育士がおやつの配膳をします。

手を洗うとおやつの時間が始まります。保育士は、イスに座らない子に「座ろう」「手はおひざ」と優しくうながしています。おやつが終わると歯磨きをします。仕上げ磨きは保育士が手伝い、うがいは自分でしています。

トイレが終わると、散歩に出かけます。すれ違う人にあいさつをして公園に向かいます。

公園に着くと、遊ぶ前に「お約束」を説明します。「すべり台やブランコをするときには先生に声をかけてください」「柵の外には出てはいけません」「植木の後ろ側にはいきません」といった約束です。公園には、ブランコや砂場、すべり台があり、ブランコは、保育士が歌を歌いながら押し、歌が終わると次の子どもに交替しています。そして帰りの道は、行きと違う道を通って保育園に戻ります。

園に戻ると足を洗い、着替え、おしっこ、手洗いとうがいを済ませ、紙芝居を楽しみます。

紙芝居の後に給食の時間がきます。ご飯ばかりを食べている子どもには「お魚食べてみようか」「お野菜食べてみようか」とスプーンにのせて勧めています。

### 3歳児クラス(3・4・5歳児クラス合同の集会・公園清掃)

子どもたちは登園すると、布団にシーツを掛けます。時間をかけて、シーツと布団の角を合わせて形を整えます。保育士は、保護者との別れを惜しみ泣いている子どもを抱っこし、「お迎え来るの待ってよう」「落ち着いて」と優しく声をかけています。その間、ほかの保育士や主任が保育室に入ってきて、「お布団上手にできるね」「こうするといいよ」と声かけしながら、子どものシーツ掛けの手伝いをしています。

シーツ掛けが終わった子から、自由遊びが始まります。柵からブロックや電車を出し、保育室におもちゃを広げて、子ども同士会話をしながら遊んでいます。

時間になると保育士は、「長い針が緑色の時間になったらお片づけしよう。みんなでね。」と声かけをします(時計には「6」のところに緑色のテープが貼ってあります)。片付けが終わるとみんなでトイレに行きます。トイレのサンダルは言われなくてもそろえることができます。

全員がトイレから戻ると、丸くなって床に正座し、朝のあいさつが始まります。「つくし組さんおはようございます」という保育士の言葉に、「おはようございます」と元気に答えます。そして、保育士は、「今日は火曜日ですが昨日はお休みなので、月曜集会をしたいと思います。その後は公園のお掃除をします」「今日のおやつは焼き芋です。アルミホイルで焼き芋を包みたいと思います」と一日の予定を丁寧に伝えます。

そして4・5歳児クラスと合流して月曜集会が始まります。子どもが座る場所にはゴザが敷かれ、園長先生の話を座って聞きます。園長先生は、「インフルエンザ、みんなかからないようにどうするんだっけ?」など、子どもに問いかけながら、インフルエンザの予防や園バスの注意点について話し、子どもは、問いかけに対して、「ぐちゅぐちゅペー」「ねるー」など、思い思いの発言をしていました。月曜集会の最後には、発表会の歌「うたえばんばん」を大きな声で歌います。

その後、3・4・5歳児クラス合同で、公園の掃除に出発します。3歳児クラスの子どもは、5歳児クラスの子と手をつなぎ、2列で公園に向かいます。公園に着くと保育士は「いろんな葉っぱが落ちこちてるよー。持って帰るのもいいけど、お掃除も頑張ってください。頑張った大賞を決めたいと思います」とみんなの前で言い、軍手を配ります。5歳児が3歳児に軍手をしてあげている姿も見られます。遊びながら時々葉っぱを拾ってごみ袋に入れる子、きれいな葉や大きな葉を集めている子、両手いっぱい枯葉を集めている子など、思い思いの活動をしています。途中で園長や主任も顔を出し手伝います。子どもが主任に、「ママのお料理とってもおいしいんだよ」と葉を拾いながら話すと、「先生も　　ちゃんママのお料理食べたいな～」と答え、子どもは満面の笑みを浮かべました。

### 4・5歳児クラス(オープン保育)

4・5歳児クラスは、日常的に生活を共にしています。この日は朝から、園庭に出て自由に遊んでいます。園庭には、小さな山、ジャングルジム、鉄棒、砂場、すべり台、畑や木のテーブルとイスがいくつも置かれ、倉庫のボールや輪も自由に遊べるようになっています。子どもは、自然にグループを作り、遊んでいます。保育士はそれぞれのグループや、高さのある遊具についています。前日の雨で濡れている遊具は、子どもが協力して雑巾でふきます。

保育士は、危ない遊びには「危ないよ」「ボールが当たったら痛いよ」などと声をかけています。遊具の高いところまで登って「先生見て!」という子どもの声には、「　　くんすごい!」と答えています。ほか

の子ども先生にほめてもらおうと「先生みてー」という声が飛び交っています。影踏みは、ルールを子どもたちで話し、じゃんけんをして鬼を決めました。畑の近くでバッタを見つけた子どもは、自慢気に友達のところに行って行きました。また、木のテーブルやイスでは数人がグループを作り、ごっこ遊びを楽しみ、縄跳びをしている子どもの近くでは、保育士が跳べた回数を数える姿が見られました。

2、3歳児クラスがテラスに出てくると、片付けが始まります。手洗い場で押し問答している子どもには、「順番ね、守ってね」と保育士は声をかけます。

10時ごろから発表会の練習が始まります。発表会は4歳児クラスと5歳児クラスが分かれて発表するため、保育室を可動式の仕切りで分け、それぞれで練習を行います。

4歳児クラスでは、手話と歌、ハンドベルの練習が始まります。「みんなが元気出てきてよかった」などほめられながら行っています。劇の練習では、子どもがふざけてしまう場面が何度か見られました。保育士は、「おふざけじゃ練習にならないよ。お家の人が見て、何やっているんだろーって思うよ」と注意した上で、「ならどうすればいい?」と子どもに意見を聞き、練習を進めています。

5歳児クラスは合奏と劇の練習をします。まずは、自由練習の時間で一人ずつ保育士が練習の様子を見て、時には励ましながら、1つできると「すごいね」とほめています。その後全員で合奏を行い、次に劇の練習を始めます。劇は、話の流れを保育士が説明して、ほめながら指導しています。

#### まとめ

低年齢児のクラスでは、保育士が声をかけ合い、連携を取りながら保育を進めています。保育士は良く言葉かけを行い、子どもは自分の気持ちを言葉で表現するようになってきています。そして、保育士はいけないことをしっかりと子どもに伝えています。

幼児のクラスでは、一日の内容を子どもに細かく説明しています。子どもは創造しながら遊びを発展させています。ケンカは保育士が一方向的に答えを出すことはなく、双方で解決できるように支援しています。また、いけない場合は、頭から「ダメ」というのではなく、「なぜいけないのか」共に考える時間を大切にしています。

## 事業者コメント

当園は、横浜市から民間移管されて2年目ということで、子どもや保護者との関係づくり、また園の基礎づくりに重点をおいて日々過ごしてきましたので、第三評価を受けるといことが途轍もなく大きな課題に思えました。職員もどこから手をつければよいのかというところからが勉強の始まりでした。勉強会グループをつくり、園内の見直しをするとともにマニュアルも見直し現在に合うものをとみんなで検討しました。緊張の連続でしたが、評価をお願いしました市民セクターさんから、「試験じゃありませんからありのままの普通の保育を見せてくれればいいんですよ」という言葉をお聞きし、肩の力が「す～」っと抜け、そこからは職員が同じ方向に一丸となって邁進することができました。

第三評価を受けることによって、勉強会の持ち方、会議の持ち方、マニュアル作りなどいろいろな勉強の仕方を職員全員で学習することができました。また、これから社会福祉法人山王平成会 阿久和保育園としての歴史をきざんでいく上での礎ができたように思います。これが終着点ではありませんのでこの学びを今後も続けてまいりたいと思っております。

そして保護者の方々には、忙しい中アンケートにご協力いただき感謝いたしております。また、私どもの日々の保育をご理解してくださっていること、温かく応援してくださっていることがよく分かりました。これからもこの絆を大切にしていきたいと思っております。

最後に『市民セクターよこはま』の調査員の皆様に度々、足を運んでいただき適切な情報提供や、きめ細かく調査していただきましたことに感謝いたしております。

平成 22 年 1 月吉日 園長 阪野 雅恵

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

---

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価・改善事業ユニット

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>

---